

## 【最新号】2010年3月号

今年も新入社員が入ってくる季節になりました。

新しい若い世代が加わることで組織にフレッシュな風が吹き込まれ、社員たちも少しきりりとした気持ちになるものです。

1987年4月以降に生まれた世代が「ゆとり世代」と言われ、ちょうど今度の新人にあたります。そんな世代の若者にはどのように接したらよいのか、従来通りの指導で良いのかと頭を悩ませている管理職やOJT担当者も多いと聞きます。

若者の気持ちや状況を知るための本も多数出ていますが、忘れてはならないのが、極端にレッテル貼りをしないことではないでしょうか。

今の40代半ば、管理職クラスの世代もかつては新人類と呼ばれていました。今となっては信じがたいことです。もちろん本人たちにはそんな意識はなかったはずですし、‘個’を見ずに、ひとくりに決めつけられても、不快以外の何ものでもなかったはずです。

ナントカ世代と言われていても、一人ひとり皆違うものです。傾向をつかむことが悪いことではありませんが、レッテルを貼って安心(不安?)するよりも“個”にきちんと向き合い、ひとりの人間としての成長を支援できるよう、まっさらな気持ちで臨むことが何より大切です。

皆さんの会社にはどんな人が入ってこられるのでしょうか。楽しみです。